

在ムンバイ日本国総領事館海外安全対策情報  
平成26年度第3四半期（平成26年10月～12月）

1. 治安情勢

2013年10月、マディヤ・プラデシュ州の刑務所から脱獄したインドムスリム学生運動(SIMI)のメンバー5人について、治安当局は2014年7月にプネで発生した爆弾事件他に関与した疑いがあるとして、国内全州に警戒を発令した。当局はメンバーがマハーラーシュトラ州にも潜伏しているおそれがあるとして捜査を続けている。

期間中のマオイスト襲撃事件等発生状況は以下のとおりである。

- ・ 12月1日、チャッティースガル州南部において中央予備警察隊(CRPF)がマオイストの襲撃を受け、幹部2人を含む14人が死亡した。これはモディ政権発足後、対マオイスト掃討作戦における最大の人的被害である。

2. 一般犯罪情勢

- (1) ムンバイ市警察は2014年8月、200名体制で女性警察官バイク部隊を編成し、治安強化にあたっている。窃盗事件は減少しているが、殺人、強姦といった凶悪犯罪はなお高い

外国人が被害に遭った例として10月、ムンバイ近郊在住の南アフリカ国籍女性がインターネットを通じて知り合ったインド人男性にビジネス立ち上げの打ち合わせ中に性的いやがらせを受けた事案が報道されている。

- (2) 邦人被害事案

12月上旬、グジャラート州内をバスで移動中の邦人旅行者が、車内で勧められた飲食物に混入していたとみられる薬物によって昏睡状態となり、気を失っている間にタブレット端末等所持品を奪われた。

- (3) 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

ア 殺人

邦人被害の事件は認知していない。

イ 強盗

邦人被害の事件は認知していない。

ウ 強姦

邦人被害の事件は認知していない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

5. 対日感情

良好である。

6. 犯罪統計

ムンバイ市警察本部統計による2013/2014年1月1日～11月30日の犯罪認知件数は以下のとおり。

期間／罪種	2014年 1月1日～ 11月30日	2013年 1月1日～ 11月30日
殺人	171	155
強盗	1,291	1,879
強姦	551	343
傷害	3,843	3,618
窃盗	5,840	5,918
住宅侵入盗（昼間）	481	460
住宅侵入盗（夜間）	2,335	2,174